

グレビーシマウマNo.12の展示場馴致報告

落合絵美

(横浜市立野毛山動物園)

野毛山動物園では、2022年10月31日にグレビーシマウマ (*Equus grevyi*) のNo.12雄が誕生した。グレビーシマウマは、生後3ヶ月頃まで子をオスの縄張り内に残し、採食や水飲みなどに向かう置き去り型の子育てを行うと言われている。今回、出産翌日から母親が子を守ろうとする行動が強く見られ、子を隠すような様子が見られた。しかし、生後6日になると母子が離れて過ごす様子も見られるようになったため、生後7日目から展示場馴致を開始した。当園では1981年よりグレビーシマウマを飼育してきたが、現在の展示場では子どもの展示は初めてとなるため、JAZAの適正施設ガイドラインを参考にするとともに、ウマの色覚(2原色)を考慮し背景と柵の見分けがつきにくいと推察される場所に高さ30cm程度のパネルを設置し、衝突回避対策を行った。母子のみでの展示場馴致および展示場を共有する雄やキリンとの馴致も行い、生後4ヶ月で展示場馴致が完了した。